

事前評価個表

整理番号	9
------	---

地域（地区）名	しょうがわ 庄川	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	富山県	対象市町村	たかおかし 高岡市ほか5市
事業実施期間	H31 ～ H35 （5年間）	事業実施主体	県、市、森林組合、森林所有者等

事業の概要・目的	<p>本地区は、富山県西部に位置し、総土地面積の約56%にあたる83千haが森林であり、そのうち74千haが民有林となっている。民有林のうち人工林は25千ha（人工林率36%）であり、樹種ではスギが94%を占めている。</p> <p>一方、木材価格の低迷や山村地域の過疎化による労働力の減少、不在村森林所有者の増加等により、間伐等の必要な施業が行なわれず、森林の有する水源涵養や土砂流出防止等の公益的機能が損なわれることが危惧されている。</p> <p>このため、本地区では、対象市が市町村森林整備計画を策定し、森林の有する公益的機能を総合的かつ高度に発揮するため、適正な森林施業の実施に努めているところであり、本事業により、施業の集約化及び林内路網の整備等を図り、低コストな森林整備を実施することで、森林の有する公益的機能の発揮を維持し、かつ間伐材を安定的に供給する体制を構築し、山村の活性化を図ることを目的としている。</p>
事業内容・事業費	<p>森林整備：5,383ha 下刈、雪起こし、枝打ち、間伐等</p> <p>総事業費：6,827,013千円（税抜き 6,321,308千円）</p>
費用対効果分析結果	<p>B/C=3.26 （総便益（B）=32,230,360千円、総費用（C）=9,897,565千円）</p>
評価結果	<p>必要性：森林施業の低コスト化を図り、適正な森林整備の実施により森林の有する公益的機能の維持、増進に努める事業であり、必要性が認められる。</p> <p>効率性：費用便益分析の結果から十分な効率性が認められる。</p> <p>有効性：森林施業を効率的に推進することにより、公益的機能の発揮と木材の安定供給を図る事業であり、有効性が認められる。</p>

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名: 森林環境保全整備事業

都道府県名: 富山県

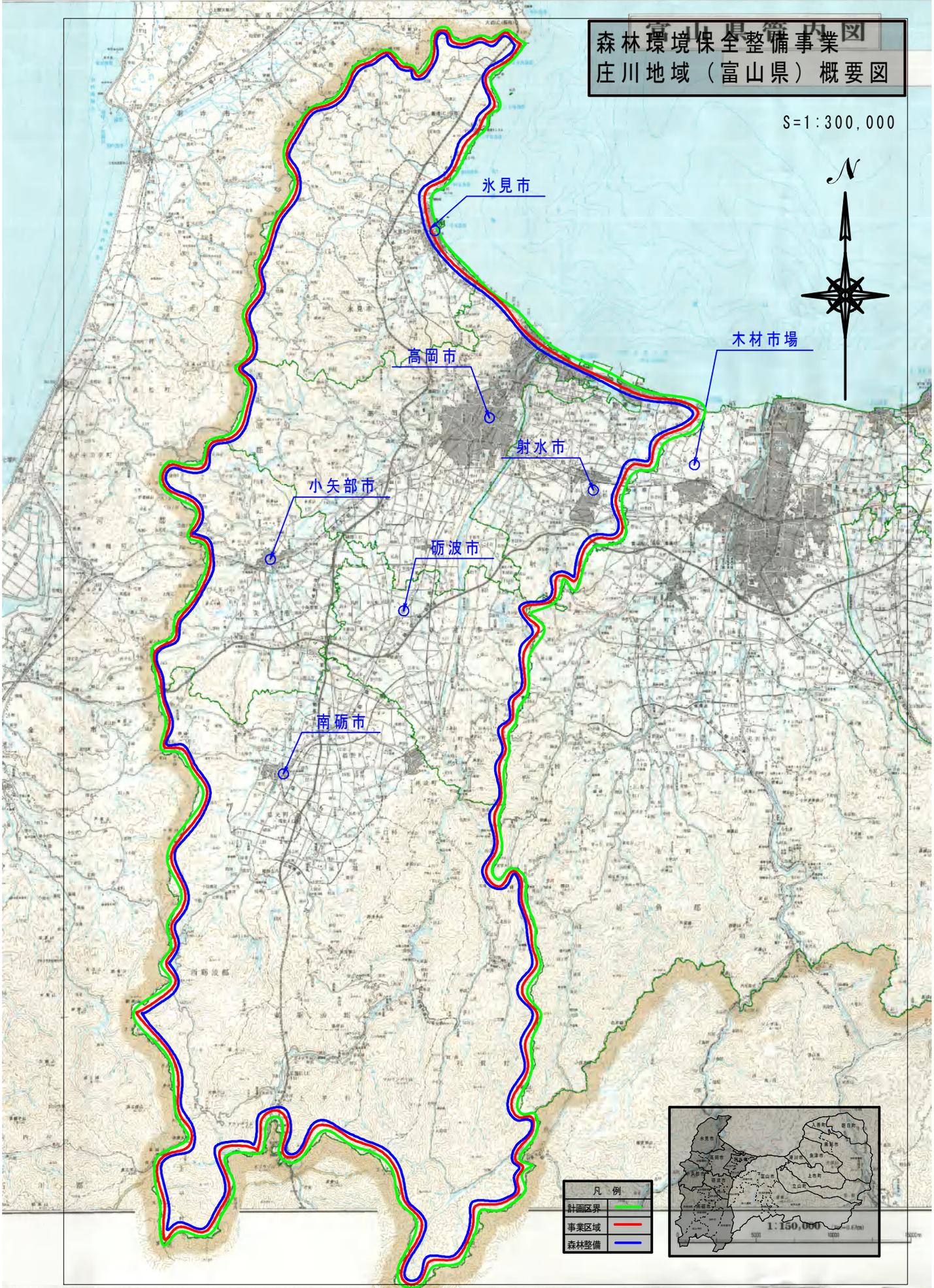
地域(地区)名: 庄川^{しょうがわ}

(単位: 千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養 ^{かん} 便益	洪水防止便益	8,708,790	
	流域貯水便益	3,422,197	
	水質浄化便益	7,252,592	
山地保全便益	土砂流出防止便益	6,903,441	
環境保全便益	炭素固定便益	4,299,972	
木材生産等便益	木材生産確保・増進便益	1,643,368	
総 便 益 (B)		32,230,360	
総 費 用 (C)		9,897,565	
費用便益比	$B \div C = \frac{32,230,360}{9,897,565} = 3.26$		

森林環境保全整備事業 庄川地域（富山県）概要図

S=1:300,000



凡例	
計画区界	緑線
事業区域	赤線
森林整備	青線

